

NPO法人

HUGこどもパートナーズのミニコミ誌

発行:NPO法人HUG

HUGコミ

第18号

2013年3月

com

もパートナーズ(東村山市秋津町) / TEL & FAX: 050-3510-4587 / E-Mail info@npohug.com / URL http://npohug

東村山市のぐちゅう子育てひろば ぶくぶく

2007(平成19)年10月にオープンしたぶくぶくは、野口町にある常設ひろばです。近所の親子が集う小さなひろば、一人でも気軽に来られます。

月~土曜まで毎日やっているので、いつでもふらっと寄ってください。利用者してくださる方々と地域の皆様に育まれ6年。2013年度もどうぞよろしくお願ひいたします!

ぶくぶく外遊びサロンのはら

八ヶ岳の自然の中で親子で一緒に遊びましょう。放射線の計測値により中止する場合は、ぶくぶくのブログに掲載します。詳しくは、スタッフまでお問い合わせください。

- ◆毎週金曜日10:00~11:30
- ◆集合場所:たいけんの里 駐輪場
- ◆対象:2歳以上の親子
- ◆持ち物:水分、タオル、着替えなど

※雨天中止

※駐車場はありません

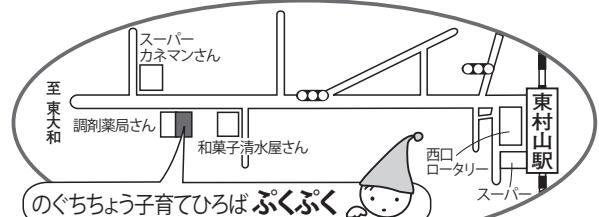
問い合わせ 090-1882-1681(野口)

◆プログラムメニューのいろいろ◆

- ママスタディ 月2回の子育て講座
ベビーサロン 0歳の赤ちゃん向けサロン
ぶくぶくカフェ 手作りお菓子とお茶でひと息(実費)
絵本ひろば ボランティアさんによる読み聞かせなど

★月~土曜日 10:00~16:00(日・祝日休み)

★お弁当タイム 12:00~13:00



東村山市野口町2-4-36 TEL 393-4181

※駐車場はありません

ホームページ、新規ドメインでリニューアルオープン！

<http://npohug.com>

ブログも見てね！

HUGブログ

こちらもリニューアル(新規URL)です。カレンダーや事業の報告をしていきます。<http://blog.ap.teacup.com/hugpartners/>

ぶくぶくブログ

これまで通り、ぶくぶくの日々の様子をお知らせしています。HPからリンクしています。<http://plaza.rakuten.co.jp/noguchihiroba/>

※トコトコ通信ブログ 準備中

HUGサロン トコトコ

- ◆毎月最終水曜日 10:00~12:00
- ◆こころの森

トコトコ通信の印刷日。折ったり重ねたりの手伝いをしながら、ママ友や先輩ママとのおしゃべりは楽しいよ！ サロンスタッフもいますので、お子さんも安心して遊べさせてください。できたての「トコトコ通信」もゲット！

HUGサロン ぱっと

- ◆毎月第2/4火曜日 10:30~12:30
 - ◆いきいきプラザ2F健診室 共催:東村山市子育て支援課
- 市内全域からの利用があり、地域の情報提供もしているので、引っ越してきたばかりの方や、まだ地元のことをよく知らない…というような方には特におすすめです。気軽にスタッフに声をかけてくださいね。

HUGの親子サロンへようこそ！

子育て広場 ハトの家

- ◆毎月第1/3月曜日 10:00~12:00
- ◆ハトホーム 1F和室 (富士見町2-26-1ハトホーム内)
※駐車場はありません。

開放感のある和室スペースに、初めて来る子もすぐに慣れてくれるので、ママたちは雑誌を読んだりおしゃべりしたり、またりできます。その様子を眺めるお年寄り達は本当にうれしそう。

〈協力サロン〉 ぱればれ広場

- ◆毎週木曜日 第1、2、4週 11:00~16:00
第3週 13:00~16:00
- ◆白十字ホーム 1F会議室 (諏訪町2-26-1)
主催:ぱればれ広場実行委員会
※駐車場はありません。

H25年度もよろしくお願いします

活動の一部をご紹介します。気軽に利用してください。

毎月のスケジュールは、「トコトコ通信」がHPでご確認ください。



毎月発行の「トコトコ通信」→
ママたちが作る子育て情報誌です！

月齢別ベビープログラム

月齢にあわせたあやし歌と
おしゃべりタイムのプログラムです

2ヶ月の赤ちゃんとママのおしゃべりTime

日時:毎月1回 10:20~12:00(受付10:00)

対象:2~4ヶ月の赤ちゃんとママ

会場:いきいきプラザ2階健診室

共催:東村山市子育て支援課

3.11 ここからプロジェクト

ここ東村山から、またそれぞれの場所から
子どもたちの生きる未来を考えよう

略して
「ここP」



2013(H25)年度のテーマは放射能問題をふくめた「食」について。奇数月に開催します。もちろん、福島とつながっています。不安なこと、疑問に思うこと…私たちの視点で学習したり語ったりする場になればいいなと思っています。子連れでOK！ どなたでも自由に参加してください。

■今年は桜の開花も例年になく早く、お花見の用意もできぬまま開花時期を逃してしまった方が多いのですが、寒暖の差が大きかった3月を経て春本番となりました。卒業・入学など新しいスタートにわくわくの親子さんもたくさんいることが多いです。■昨年度は事業が増え、HUGにとっては飛躍の年となりました。今月号はその報告を中心で編集されています。今思えば、NPOをつくった時、どんな未来があるのか想像もできず、手探りでほんの小さなボランティアから始めた私たですが、少しずつ、少しずつ、思いが形になってきたと実感するこの頃。『こうだったらいのにな』は、すぐに実現できなくても、その思いを大切に育みまわりの人達と丁寧につくつていったらいいんだということを学んだ気がします。そして、それを実現するための力をつけることが求められるということでも、今年は保育園に入れない子のお母さん達が各地で異議申し立てを起こしました。一度職を離れてしまうと、小さな人達が各所で異議申し立てを立てるに四苦八苦し、親は子育て一色の生活に悶々とする子供を抱えての再就職って難しいですね。働く母親は子育てと仕事の両立に四苦八苦し、親は子育て一色の生活に悶々とするの？ 社会と関わりながら、子育ても立派に生きて、そのどちらかしか選択できない人じやなく、みんなと支え合ってゆつたりしたい。そんな望みは贅沢なんだろうか？ HUGの活動はそんな思いから始まりました。その思いに立ち返り、今年も会員を募集しています。興味のある方はぜひ、一緒に活動しましょう。

雑記報

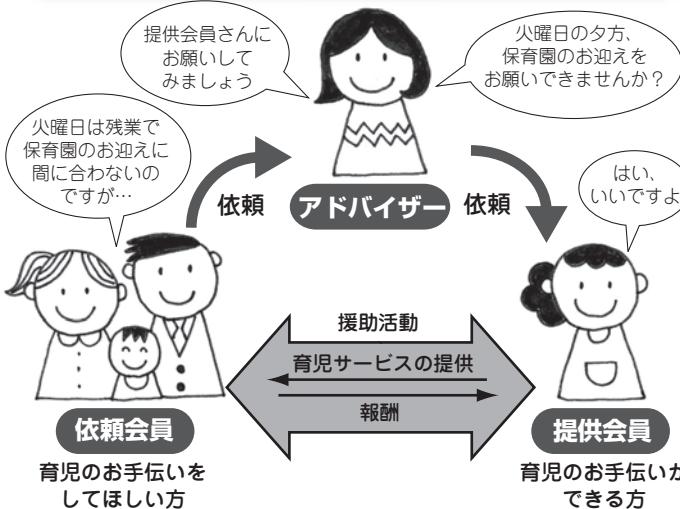
■今年は桜の開花も例年になく早く、お花見の用意もできぬまま開花時期を逃してしまった方が多いのですが、寒暖の差が大きかった3月を経て春本番となりました。卒業・入学など新しいスタートにわくわくの親子さんもたくさんいることが多いです。■昨年度は事業が増え、HUGにとっては飛躍の年となりました。今月号はその報告を中心で編集されています。今思えば、NPOをつくった時、どんな未来があるのか想像もできず、手探りでほんの小さなボランティアから始めた私たですが、少しずつ、少しずつ、思いが形になってきたと実感するこの頃。『こうだったらいのにな』は、すぐに実現できなくても、その思いを大切に育みまわりの人達と丁寧につくつていったらいいんだということを学んだ気がします。そして、それを実現するための力をつけることが求められるということでも、今年は保育園に入れない子のお母さん達が各地で異議申し立てを立てるに四苦八苦し、親は子育て一色の生活に悶々とする子供を抱えての再就職って難しいですね。働く母親は子育てと仕事の両立に四苦八苦し、親は子育て一色の生活に悶々とするの？ 社会と関わりながら、子育ても立派に生きて、そのどちらかしか選択できない人じやなく、みんなと支え合ってゆつたりしたい。そんな望みは贅沢なんだろうか？ HUGの活動はそんな思いから始まりました。その思いに立ち返り、今年も会員を募集しています。興味のある方はぜひ、一緒に活動しましょう。

ファミリー・サポート・センターって？



育児の援助をしたい方と
育児の援助をしてほしい方が会員となり
地域の中で子育てを支援する地域相互援助活動です。

ファミリー・サポート・センターのしくみ



■東村山市ファミリー・サポート・センター

東村山市野口町 1-25-15 東村山市地域福祉センター 2F ころころの森内
Tel/Fax : 042-393-5137 e-mail : famisapo@waltz.ocn.ne.jp

保育サポート まめっちょ



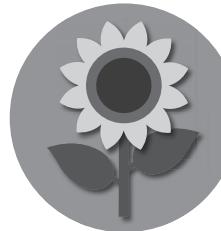
H24年7月、ファミリー・サポート・センターの事業の他に、「保育サポートまめっちょ」がスタートしました。

ファミリー・サポート・センター事業は個別の援助活動ですが、「まめっちょ」は、集団での保育ができ、主に、ころころの森での講座の時の保育などをします。ソーターは提供会員の中から希望者の50名近い方が担ってくださっています。

今年度はさっそく「双子のママ達の会」の保育などがあり、ソーターさん自身もとても楽しんでいました。双子のお子さんが10組近く集まった様子はなかなか壮観で、やりがいのある初仕事でした。

連続7回の講座だったため、ソーターさん達も子ども達にだんだんと慣れ、集団保育の楽しさがいっぱいでした。

HUGこどもパートナーズの活動紹介・その17



東村山市ファミリー・サポート・センター

H24年度より、「NPO法人東村山子育てネットワークすずめ」と、私たち「NPO法人HUGこどもパートナーズ」が「東村山市子どもNPOユニット」というグループを組み、東村山市子育て総合支援センターころころの森の指定管理者となりました。

そして、ファミリー・サポート・センターも、ころころの森に一体化し、HUGが担当しています。

東村山でファミリー・サポート・センター事業が始まって、今年で9年目。市の直営から指定管理の事業としてころこの森に事務所が移り、1年が経とうとしています。HUGでは事業拡大とともに事務局の事務量も膨大となり、ドキドキのスタートでしたが、みんなに支えられてなんとか歩みはじめています。今後ともよろしくお願い致します。

■事務所移転の年



H24年度 活動報告

長年アドバイザーをしている坂元さんに感想を聞きました。
「おかげさまで大きな混乱もなく、なんとか軌道にのせることができました。役所のカウンター越しではなく、親子の集うこころの森での運営は、今どきのお母さんや子ども達の様子を伺い知ることができ、良かったなと感じています。また、HUGこどもパートナーズの今までの子育て支援に関するノウハウが、ファミサポの活動を支えていく大きな力となっていることを実感しています。まだまだスタートしたばかりですが、より良いものになるようお手伝いしていかれようと願いします」

東村山には病児保育室がつもなく、なんとかファミサポで制度を作つて、少しでも改善できないかと協議してきましたが、来年度、市内に病院併設型の病児・病後児保育室ができる日途がたち、ファミサポとしての役割を改めて考えることになりました。

子どもが病気の時ぐらいたり親のどちらかが心おきなく休めるよう社会を望みつつ、現状の問題の解決のために私達ができることは何なのか、考えさせられる毎日です。

働くママ達にとって、子どもが病気の時が一番の困り事。仕事はそんなに休めないし、どうしたらいいかな…。
年1回なので、このチャンスをお見逃さなく、興味のある方はぜひ講習を受けて提供会員になり、地域で困っているママ達を支えてください。

■「病児・病後児保育」

ファミリー・サポート・センターでは、提供会員さんになっていた大くために年1回養成講習会があります。今年度も9～10月にかけて全9日間の講座があり、17名の提供会員さんが誕生しました。子育てを一段落して、何か社会のために役立ったという思いの方も多く、熱心に学ばれていました。

■提供会員養成講座



提供会員さんの声

保育園の送り道、"探検の小道"は誘惑がいっぱいです。落ち葉がお魚に変身します。

お話をたくさんしてくれます。あっという間に時間が過ぎてゆきます。とても楽しい時間をありがとうございます。

1か月ぶりに会ったHくんはパワーアップしていました。言葉もはっきりしていて、私のこともパパからSさんになっていました(パパでもいいのに…).1時間くらいバギーで散歩に行きました。

